



ふるさとと教育をきっかけに 活躍する若者たち

関乃五本松節の 後継者育成に貢献したい



小坂 すずさん
(19歳)

松江市美保関町出身
浜田市在住
島根県立大学2年生

中学校で出会った関乃五本松節

中学校のふるさと教育で地元で伝わる民謡「関乃五本松節」に出会い、その面白さに惹かれ、すぐに友達と一緒に保存会に入会しました。

保存会で高齢者施設を訪問した際、歌を聞いて涙する方がいて、益々のめり込みました。



一歩踏み出す力が身に付いた

ふるさと教育のおかげで「関乃五本松節」に出会い、何事にも挑戦することの大切さや、「思う」だけでなく「行動する」力につながったと思います。

関乃五本松節を絶やさない

これからも地域を拠点に「関乃五本松節」の後継者の育成や、たくさんの人に訪れてもらえるようなまちづくりに関わってまいります。

玉湯で夢を叶える姿を 子どもたちに見せたい



下山 嘉真さん
(27歳)

松江市玉湯町出身・在住
観光協会玉造温泉支部
事務局次長/
TAMATSUCRAFT代表

偉人への挑戦は続く

観光協会の仕事の傍ら、YouTuberやタレントとしても活動しています。自身の子ども時代のように、田舎を理由に夢を諦めてほしくないから、都会でなくても夢を実現できることを子どもたちに伝えていきたいです。



地元の偉人になりたい！

勾玉づくり体験や川探検、まち新聞作成などがふるさと教育として記憶に残っています。まち新聞作成のテーマ選択の際に出会った郷土本の地元の偉人たちの紹介を見て、自分もこのページに載りたいと強く思ったことを覚えています。

子どもたちの人生選択に寄り添う

地元出身の社会人を中心として立ち上げたグループ「T-ails (ティールズ)」では、子どもたちの進路や人生選択の相談相手のような存在を目指しています。

子どもと地域の懸け橋になりたい



幸増 悠佑さん
(25歳)

大田市大田町出身・在住
大田市立大田小学校教諭

地域の見慣れた風景が財産

ふるさと教育では石見神楽の神楽面や石見銀山といった伝統文化について学習しました。地域にある見慣れた風景や文化がよそにはない特別なものだということを実感しました。

地域との関わりから教員の道へ

地域のことを知ったことで、高校時代に中高生の地域貢献グループ「大田JOいんつ」の立ち上げに関わり、その活動を通じて地域の方々と触れ合う中でふるさと教育の重要性を認識し、教員の道を選びました。大学の卒論でもふるさと教育をテーマに取り上げ研究を行いました。

ふるさと教育を通じて地域を元気に

子どもと地域を繋げることで子どもの世界を広げるとともに、子どもの地域課題に対する発想を地域に還元し、地域を元気づけるような教育活動を展開していきたいです。



しまねの

ふるさとと教育

“ふるさと”しまねを学びの原点に

しまねに学ぶ しまねに育つ

ふるさと発!
ワクワク・ドキドキ体験



あなたの思いや**経験を伝える**ことが
子どもたちの**確かな成長**と、
未来を担う人材の育成につながります。

Let's enjoy “ふるさと教育”
島根県教育庁社会教育課
TEL.0852-22-6876 FAX.0852-22-6218
Mail : shakaikyoiku@pref.shimane.lg.jp
〒690-8502 島根県松江市殿町1番地

島根県教育庁社会教育課

子どもがのびる ふるさと教育で 地域も子供も“ガンガン”のびる!

学校・地域で

地域の特色を活かした体験活動でたくましく成長!
地域のひと・もの・ことから愛着・誇り・貢献意欲とともに
幅広い学力・実行力を育む!



子どもも大人も 元気に! 農場・加工場も子どもたちの大切な学び場。 経験・体験が将来の“生きる力”に!



日登の郷では「地域づくりは人づくりから」をモットーに、子ども達のために学校と連携を密にし、①放課後居場所活動②学習支援活動③単身高齢者訪問福祉活動など、ふるさと(地域)の中で心豊かに育てるための種をまき、次代の担い手づくりに取り組んでいます。
(地域自主組織 日登の郷 佐藤弘之会長)

地域の声

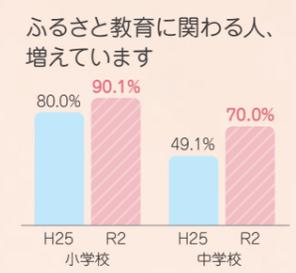
地域と学校の協働で子どもたちがのびのび成長!

雲南市 寺領小学校

「地域とともにある学校、学校とともにある地域」という理念のもと、地域全体で子どもたちの学びや成長に関わっています。

学校教育の柱「食と農」は、地域も大切にしているキーワード。講師・ボランティアとして地域住民が活躍し、農園・加工場などの施設も子どもたちの学びの場となっています。

地域全体の関わりによって、学年(成長)に応じた作物に触れることができ、また、生産・加工・販売に至るまで「食と農」に関わる一貫した学びが実現しています。



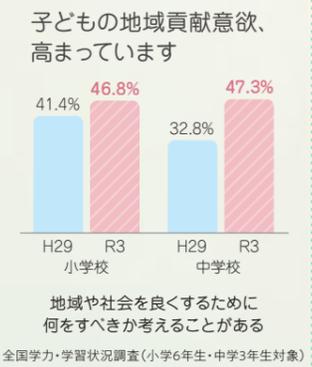
地域住民や保護者など様々な人が講師やボランティアとして学習活動に関わっている
ふるさと教育に関するアンケート(島根県教職員対象)

地域のボランティア延べ1,504人(R2)
児童数(60人)の約25倍!



地域活動にすすんで参加!
日頃の感謝を伝えます!

子どもたちが打った蕎麦を地域の高齢者に配布するなど、子どもたちの地域貢献意欲も高まっています。



地域独自の「預かり保育」が誕生!

このような学校と地域の密接な連携が実を結び、寺領小学校に通わせたい保護者と、子どもたちの成長にいつまでも関わりたいという地域住民の願いから、地域独自で寺領幼稚園児の預かり保育が開始されました。地域と学校がともにふるさと教育に取り組むことが地域活性化につながっています。

地域の偉人である加藤歎一郎先生の教えのもとに、各学年や全校での農業体験を通して、地域への愛着を高めています。
地域の方とふれあひながら学んだことを自信につなげて、子どもたちはのびのびと成長しています。
(内藤まり子校長)



学校の声

学びが深まる 各地域で特色あるふるさと教育が行われています



松江市 内中原小学校 5年生

堀川再発見プロジェクト

POINT
・五感を使った体験による主体的な学び
・PTAや地域住民など幅広い関わり

ふだん何気なく見ている堀川に地域住民の協力を得て実際に入ったり、調べ学習を行い、自分たちに出来ることを考え発表したりしました。ヌルヌルした泥の中に足や手をつ込み生き物を見つける体験は子どもたちにとって貴重な機会となっています。

五感を使って実際に自分たちで体験することにより、子どもたちの堀川への興味・関心が高まるとともに、主体的に調べてまとめる学びにつながりました。



吉賀町 柿木中学校 1~3年生

竹灯笼で棚田をPRしよう

POINT
・ふるさと教育による自発的な地域貢献
・地元の様々な仕事を知る機会を提供

ふるさとで暮らす・起業する人材を育てるため、吉賀町の様々な仕事や地域の伝説などについて、講話・フィールドワーク・体験を通じて実践的な学びを行っています。講師は地域の方が担い、大人と子どもと一緒に考え行動するための機会になっています。

生徒は、自分たちにできることとして、学びの中で訪れた大井谷の棚田入口に「竹灯笼」を飾って道行く人にアピールし地域貢献したいという思いから、地域の人に指導してもらいながら竹灯笼を作成・設置しました。



美郷町 邑智小学校 5年生

山くじら(イノシシ)学習

POINT
・地域課題を活かした多様な学び
・多くの人の主体的な関わり

地域の課題となっている獣害対策を題材にして、生き物の生態や正しい作物の管理、山くじらの加工などを実際に体験しています。生き物の生態や人間との関わりなどを命をテーマにした学びは理科や道徳へとつながり、加工品の流通を学ぶことは経済を知る機会になっています。

学校・住民・企業・行政が目的や子どもたちに感じてほしいことを共有しながら進めており、地域の活力となっています。



知夫村 知夫小中学校 中学部3年生

だんだん物語プロジェクト

POINT
・実践につなげるふるさと教育
・地域の伴走支援による深い学び

高齢者の方の人生の思い出をまとめた1冊の本を作る過程で、地域の方からお話を聞く、福祉施設に行きコミュニケーションの練習を行うといった機会を持ちました。これらの学習を通して、相手に寄り添う・相手を知ることが出来る力を生徒が身に付けるとともに、高齢者は家族との会話が増えたという課題解決にもつながりました。



このプロジェクトは、これまでの8年間の学びを実践へとつなげるために、課題解決プロジェクトとして実施し、地域の関係者が伴走者としてサポートすることで深い学びへと結びついています。